

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 西田、阿部  
 直通：092-643-3597  
 内線：3386

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第9週（令和5年2月27日～令和5年3月5日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 第9週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が3件ありました。腸管出血性大腸菌感染症の一般的な症状は、腹痛、水っぽい下痢及び血便です。子どもや高齢者が感染した場合は重症化しやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こす場合があります。腸管出血性大腸菌は、食肉などに付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べること等で感染しますので、肉などを調理する際は十分に加熱（75℃以上で1分以上）し、生肉専用の箸と食べる箸を使い分けましょう。また、患者の便などで汚染された手を介して人から人へも感染するため、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	82	161	1,706
腸管出血性大腸菌感染症	3	6	16	140
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	18	19	256
急性弛緩性麻痺	1	2	0	4
後天性免疫不全症候群	2	7	8	116
侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	16	256
水痘（入院例）	1	3	5	30
梅毒	8	111	173	1,937

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

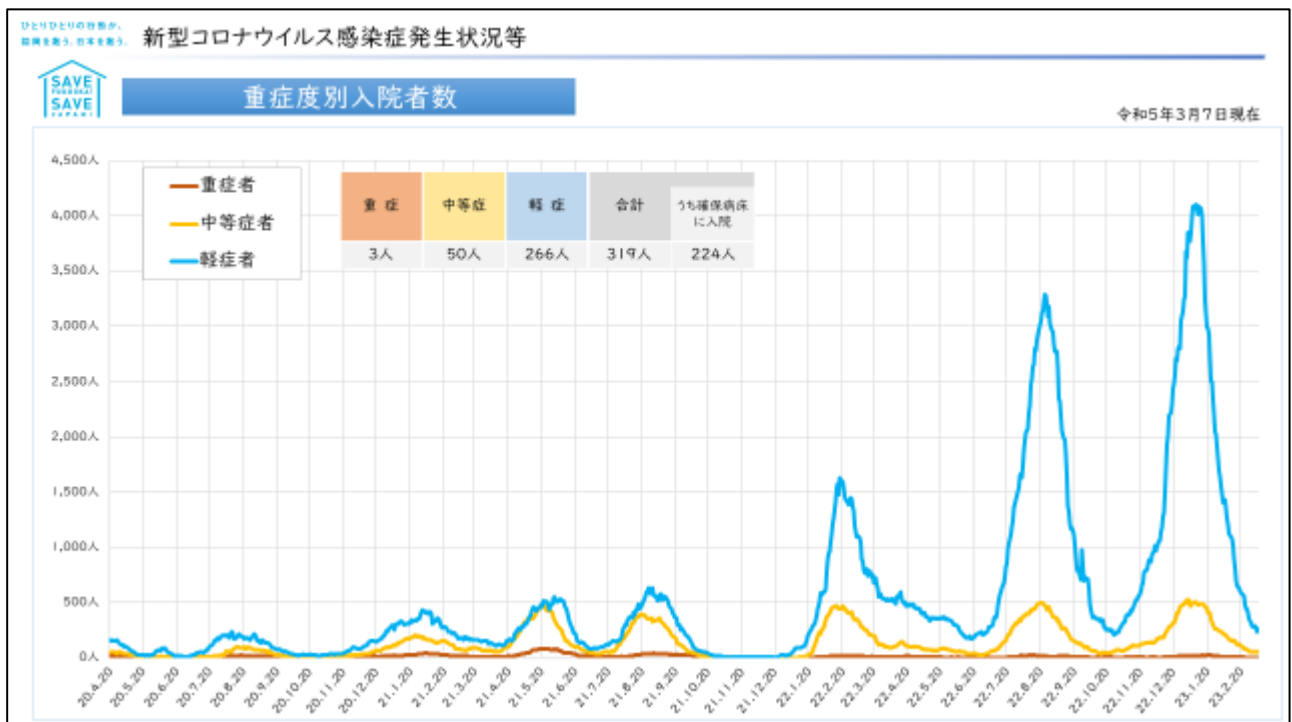
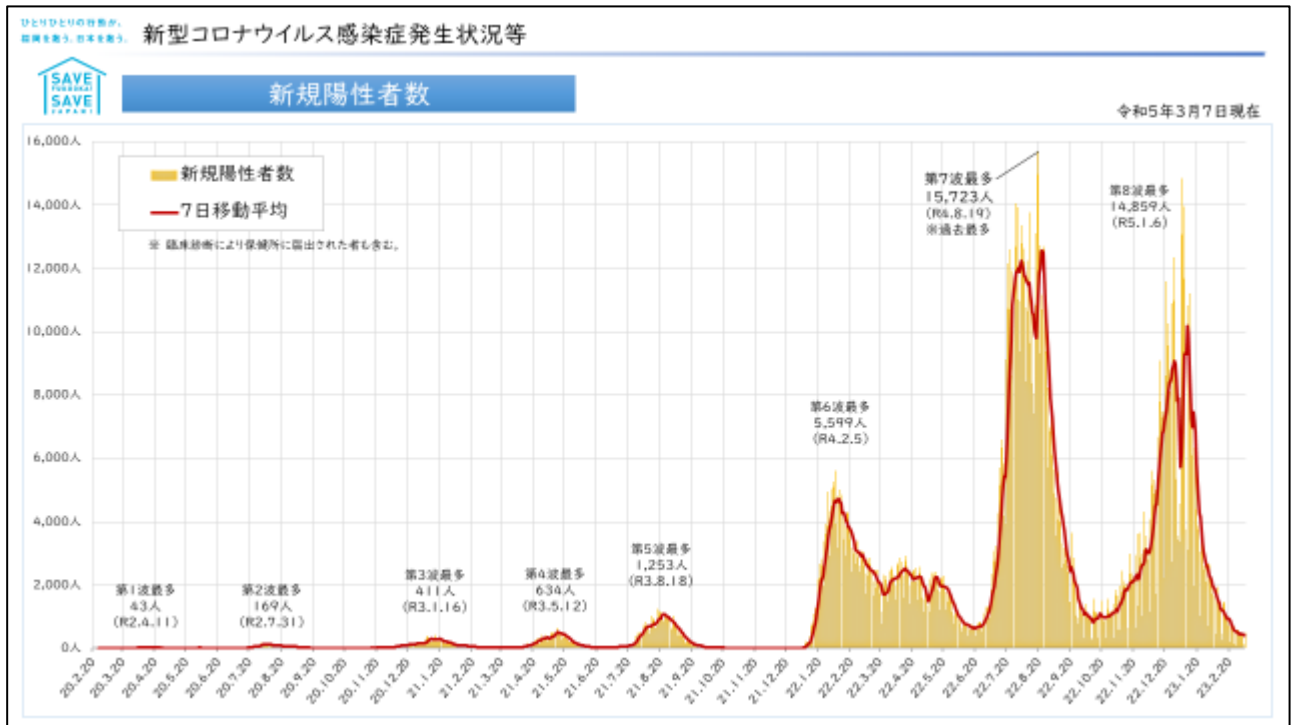
### ■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ（注意報レベル）	2,879	14.54	0.94	55,873	11.32
RSウイルス感染症	53	0.44	0.88	969	0.31
咽頭結膜熱	28	0.23	1.27	491	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	181	1.51	0.94	1,470	0.47
感染性胃腸炎	803	6.69	1.18	19,528	6.20
水痘	9	0.08	0.53	219	0.07
手足口病	17	0.14	0.89	206	0.07
伝染性紅斑	1	0.01	0.25	30	0.01
突発性発しん	42	0.35	0.93	611	0.19
ヘルパンギーナ	24	0.20	0.73	153	0.05
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.50	81	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	1	0.04	0.33	121	0.17
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	7	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	7	0.01

## ○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>